

13 のないさんざん 野内三山 (大森山130m 高山153m 観音山72m)

地域 青森市近郊

2009年4月28日

[ルート] 大森山・西尾根→北東尾根→高山・ガードレール→南東尾根→観音山
[参加者] Y.NARA 他5名
[コースタイム] 駐車地点(P)より歩き始め 9:32→ 大森山西尾根取り付き 9:35→ 大森山 (130m)
9:59~10:12→車道→高山取り付き 10:49 →高山西峰(153m)11:41→東峰→林道
→日吉神社 12:10→車道→観音山入り口 12:42→観音山(72m)山頂 12:52~13:43
(昼食)→観音山入り口 13:52→駐車地点 14:00

[登山口までのアプローチ、登山口の様子]

国道4号を浅虫方面へ向かい、ラーメン店「麺山」を左折、44号に入る。駐車地点は野内駅に向かう途中のY路を左に入り少し行った左手の小さな空き地。

[山行記録]

野内三山

青森市東北部野内地区にある大森山(130m)、高山(153m)、観音山(72m)の三低山を勝手にそう呼ぶ。

①大森山 130m(道なし)

駐車地点から元田んぼの中を通り、西尾根を目指す。満開の山桜を左に見、取り付き地点は二股の木が水路に倒れ掛かっている所が目印。かすかな踏み跡がある。始め笹がすこしうるさいがじき歩き易くなる。シュンランがあちこちに咲いている岩混じりの尾根をしばし急登。大森山山頂はクロモジ、ミズナラ等が生え、三角点がある。盛岡の藪山愛好集団によるプレートも木に付けられている。下りは満開の桜の下を通り、北東斜面を行く。杉の幼木をツル性植物がおおい、地に足が付かない難所が現れるが無事乗り越える。こちら側の方が地面の水気が多く、また植物も多種多様。やがて畑に出ると大きな梅の木が立っていた。

②高山 153m (道なし)

車道(44号)を野内駅方面へ向かい、右手の白いガードレールのそば小屋の辺りから尾根に取り付く。杉、灌木のやや暗いなかを北へ登って行く。やがて明るい雑木林になり、視界も開ける。少し平になった辺りで尾根筋を東へ向きを変える。107mPを過ぎ這いつくばるよう急登して高山山頂着。この山は双耳峰、東峰へは急斜面を下って7~8分、採石場の白っぽい山肌が迫る。眼下にトンネル、手前のドライブインを見ながら南東の尾根を下る。林道へ出たら右へ行く。この道は国道と平行して日吉神社まではいい道だが、その先は今は笹藪こぎ。ベスト・コーポレーション裏の空き地にポッと出て、そこから車道へ。

③観音山 72m(道あり)

車道を歩き駐車地点を過ぎ、観音山へと向かう。入り口には石碑があり、道はすぐ二手に分かれる。上りは左手を行く。道の両側にはカタクリ、観音様の傍らには水仙が咲く。ゆっくり歩いても10分程で山頂、猿田彦大神の碑がある。さあ、桜の下で念願の花見の宴を、と思ったらこの桜はソメイヨシノ、天狗巢病にやられて花付きが悪く、木に勢いが無い。帰りは反対側を下る。

教訓 山桜は頭上高く咲くので、中へ入ると見えない。離れて眺めるのがよらしい。

報告 Y.NARA



観音山山頂



大森山山頂

14 たいへいざん 大平山 (563m)

地域 青森市近郊

2007年11月7日

[ルート] 東岳⇄太平山
[参加者名] H.NAKAMURA
[コースタイム] 駐車場登山 9:24 → 展望所 9:50 → 東岳山頂 10:24 ~ 10:30 → 第一ピーク 10:52 → 第二ピーク分岐 11:12 → 分岐 11:20 → 大平山山頂 11:21 ~ 11:25 → 第二ピーク 11:37 → 第一ピーク 11:58 → 東岳山頂 12:16 ~ 12:24 → 駐車場登山口 12:56

[山行記録]

先行者二人いたが小屋の前で二人追い越す。東岳山頂到着時、先行者のもう一人が下山。山頂までちょうど一時間。コンパスを合わせ尾根筋を第一ピークへ向かう傾斜はかなりキツイがヤブはそれほどでもない。第一ピークと第二ピークの鞍部は笹だが、東側は笹が無い。第一ピークに赤テープを付けて、第二ピークへコンパス合わせる。第二ピークの東側を巻いていると、前方に東側に下る人影が見えた。しかし、道も歩いた跡も無いので勘違いか？ 第二ピークを少し下った所に西側からの踏み跡あり、大平山へ続いている。ここに名前を彫った木があり、踏み跡も草を切った跡がある。東側への踏み跡はわからず。登るにつれて踏み跡は不鮮明。大平山を巻くように進むと、オフロードバイクの跡がある道に出てすぐ山頂の脇を東側へ下っている。大平山山頂は木の生えたヤブ。下りでの第二ピークへの分岐はよほど気をつけないとわかりにくい。踏み跡からそれて第二ピークへ向かう。第一ピーク、東岳山頂への登りは結構キツイ。見通しが利いたので歩きやすかった。東岳山頂に男性二人。少し会話を交わして一服後下山。

報告 H.NAKAMURA



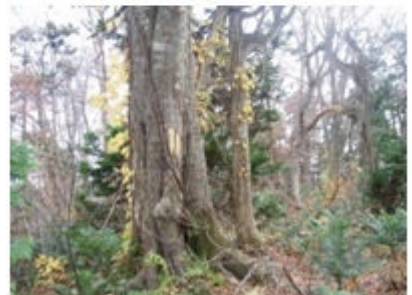
第一ピーク



第二ピーク過ぎの名前を彫った木



オフロードバイクの跡のある道路



大平山山頂